

<資料-2>

“ヤシノミ洗剤 微生物分解性（生分解性）について”

従前の「ヤシノミ洗剤」生分解性試験は、開始から14日までの分解率を石けん及びLAS系洗剤との比較データで実施し、分解率は～70%強であった。今回、ヤシノミ洗剤の更なる分解を確認すべく分解終了時点までの試験を行った。分解に要する酸素吸収は、20日で理論量の～90%まで進みそれ以上の分解に要する酸素吸収はなく、飽和酸素吸収の領域に到達した。

試験の方法上飽和酸素吸収まで到達すれば、試験試料は100%の「生分解性」を示すと解釈される。即ち、ヤシノミ洗剤はこの試験では20日間で100%生物分解が進んだ。

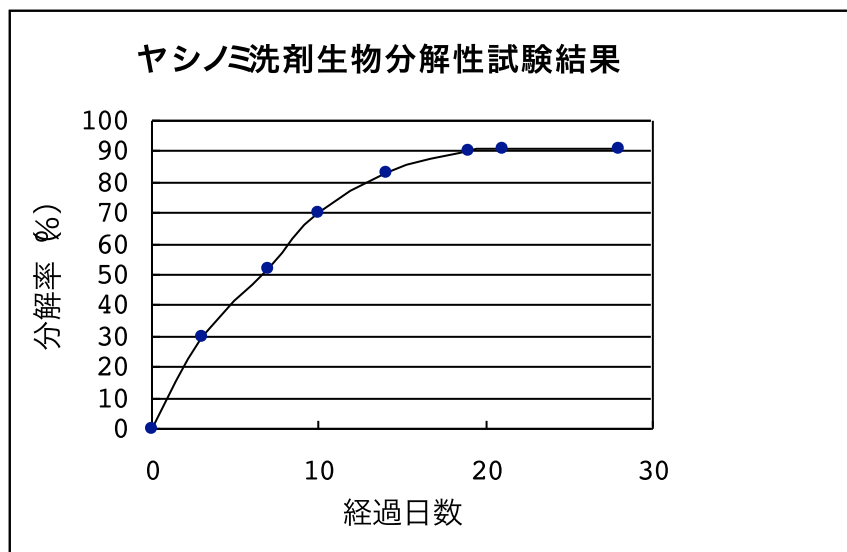
公的機関（大阪市立工業研究所）によるヤシノミ洗剤「生分解性」試験結果・・・下図（大工研報第2975号より引用）

<生分解性試験方法>

OECD301C記載方法に準拠

試料名称：ヤシノミ洗剤（LOT NO 110624）

界面活性剤濃度；16%



分解率；ヤシノミ洗剤の分解に要する「微生物酸素要求量（BOD）」から計算される